

# ニュースレター No.91

## 会長挨拶

### 一般社団法人 福岡県助産師会 会長 佐藤香代



雨に洗われた木々の緑がひととき鮮やかに映る季節となりました。会員の皆さまには、日頃より母子保健の向上と助産実践にご尽力いただき、心より感謝申し上げます。

去る5月23日、一般社団法人福岡県助産師会通常総会を無事に終え、新たな理事会体制がスタートいたしました。私はこのたび、引き続き第4期の会長（理事長）を務めさせていただくこととなりました。責任の重さを改めて感じるとともに、会員の皆さまと力を合わせながら、本会のさらなる発展に取り組んでまいりたいと思います。

福岡県助産師会は、先輩方が築いてこられた歴史と伝統を大切にしながら、社会の変化に対応できる組織づくりを進めてまいりました。その結果、会員数は382名となり、多くの仲間が集う組織へと成長しています。これは、一人ひとりの会員の皆さまが地域で信頼を積み重ね、助産師の価値を社会に示し続けてくださった成果にほかなりません。

本年度は、「地域に根ざした助産活動のさらなる推進」「妊娠・出産包括支援事業の充実」「組織基盤の強化」「専門研修の充実」そして「新会館建設に向けた再整備」を重点課題として取り組んでまいります。特に新会館は、単なる建物ではありません。助産師が学び、語り合い、つながり、地域と共に歩むための拠点であり、未来の助産師たちへ引き継ぐ大切な財産です。次の世代が希望を持って活動できる環境を整えることは、私たちの使命であると考えます。

我が国では少子化が加速度的に進み、2025年の出生数は67万1,236人、合計特殊出生率は1.14と過去最低を更新しました。出生数の減少は避けがたい現実ですが、人口が減少する時代であっても、一つひとつのいのちの価値が変わることはありません。専門職としての助産師への期待はこれまで以上に拡大しています。

私たちは今、大きな転換期に立っています。しかし、それは決して縮小の時代ではありません。むしろ、助産師の専門性を社会のさまざまな場面で発揮できる、新たな可能性が広がる時代です。地域保健、学校教育、企業における健康経営、生涯健康支援、災害時支援など、助産師が活躍できるフィールドは着実に広がっています。これからは「お産に関わる専門職」を根底に据えながらも、その枠を超え、「人々の健康と幸せを支える専門職」として、社会のニーズに応えていくことが求められています。

どのような時代にあっても、助産師の存在が必要とされなくなることはありません。私たちには、いのちの誕生に寄り添い、それぞれの人生に伴走し、その尊いいのちを未来へつないでいく専門職としての使命があります。その誇りを胸に、福岡県助産師会の新たな歴史をともに築いていきましょう。

本年度も変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 常任理事 挨拶

### 副会長 吉田静

福岡県助産師会会員の皆さま、こんにちは。  
一般社団法人福岡県助産師会 副会長を務めております吉田静です。このたび、3期目（通算5年目）の副会長を務めさせていただくこととなりました。どうぞよろしくお願いいたします。福岡県助産師会では、電話相談事業やプレコンセプションケアセンターの運営、包括的性教育の推進など幅広い活動に取り組んでおります。さらに今年度は、多胎児マタニティクラスや集合型産後ケア事業など、新たな事業も開始する予定です。このように多くの事業を展開できるのは、日頃より地域で母子とそこをご家族を支えてくださっている会員の皆さまのご尽力の賜物であり、心より感謝申し上げます。今後も福岡県助産師会の活動をさらに充実させ、会員の皆さまの活動を支えられる組織となるよう努めてまいります。

2年間、どうぞよろしくお願い申し上げます。

### 書記 阿部聖子

会員の皆様、いつも助産師会の活動にあたたかいご理解とご協力をいただきありがとうございます。とうとう書記としての活動も4期目のスタートを切ることとなりました。

振り返れば様々な新事業が立ち上がりましたが、それに伴う事務の煩雑さは変わらず、会館問題もいまだ停滞の中にあります。一足飛びの解決は難しいのが現状ですが、まずは一步でも前へ進めるべく、今年度は委託事業の事務局として、新たに会館での事務員雇用を始めることとなりました。

課題が多い時期だからこそ、会員の皆様とのつながりを大切に、様々なご意見をお聞きしながら、一步一步進んでいきたいと思っています。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

### 会計 山口美津枝

会員の皆様、日頃より助産師会の活動に温かいご支援をいただき、ありがとうございます。この度、4期目となる常任理事および会計を拝受いたしました。

再びこの重責を担うことに、身の引き締まる思いでいっぱいです。皆様からお預かりした大切な財源を、透明性をもって適正に管理し、助産師の職能向上や地域の母子保健活動へ効果的に還元できるよう尽力いたします。ここで、会員の皆様に大切なお願いがございます。今年度から会計の事務負担を軽減するために本会の会費は全員自動振替とさせていただくことになりました。まだ自動振替の手続きがお済みでない会員の皆様は、至急「日本助産師会」へ自動振替申請書をご提出くださいますようお願い申し上げます。適正かつ円滑に財務管理を行うためにも皆様のご協力が不可欠です。何卒よろしくお願いいたします。

今後とも、皆様からの変わらぬご指導とご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

## 三部会長 挨拶

### 勤務部会長 村田修子

今年度2期目となる勤務助産師部会長を務めさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。当部会は6月現在、会員数207名と福岡県助産師会の半数以上占める部会です。今年度は、

皆様からのご要望が多かった「無痛分娩」に関する研修会を企画いたしました。本研修はアドバンス助産師申請対象となっております。

今後も皆様の意見を取り入れた部会運営を行いたいと考えておりますが、現在メールの登録がない方やメールが届かない方々がおられます。メールは年数回お届けしております。今一度、日本助産師会ホームページより登録状況のご確認をお願いいたします。今年度も皆様のご参加とご協力をよろしくお願い申し上げます。

## 助産所部会長 高橋よし恵

この度、助産所部会長に就任いたしました高橋です。2023年に分娩の取り扱いを始め、今年で4年目を迎えました。若輩者ではございますが、一生懸命努めてまいります。

現在、分娩取り扱い助産所が直面する重要な課題の一つに嘱託医問題があります。開業を志す助産師が一步を踏み出せるよう、病院との信頼関係を築き、助産院での出産の安全性を守ることが大切だと考えております。

「自然なお産」という選択肢を未来へ繋ぐためには、次世代を担う若い助産師の育成が不可欠です。開業には大きな責任が伴いますが、妊娠期から築く妊婦さんとの信頼関係や、そこで迎えるお産は何物にも代えがたいものです。「自然なお産」の素晴らしさを次世代へと伝え、繋いでまいります。

助産所部会の皆様、そして会員の皆様のお力添えをいただきながら、一步ずつ取り組んでまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

## 保健指導部会長 福田睦美

この度、保健指導部会長を拝命いたしました福田 睦美（フクダ ムツミ）です。

2024年より2年間福岡地区理事を務めており、引き続き役員として福岡県助産師会で活動することになりました。7:1看護が始まった2007年に看護師免許取得の後、東日本大震災があった2011年に助産師となりました。総合周産期母子センター、クリニック勤務、看護学校の教員を経て、2020年よりフリーランスとして様々な活動をしております。よろしくお願い致します。

## 2025年度 表彰

受賞された皆さま、おめでとうございます！

- |                        |         |          |        |
|------------------------|---------|----------|--------|
| 【母子愛育会会長表彰】            | 豊田 晴子氏  | 新地 裕子氏   |        |
| 【日本助産師会会長表彰】           | 木下 広江氏  | 松尾 則子氏   |        |
| 【日本助産師会 永年活動感謝状】       | 成清 マサキ氏 | 倉住 玲子氏   |        |
| 【福岡県母子保健家族計画事業功労者知事表彰】 | 山口 美津枝氏 | 長谷川 まどか氏 | 加藤 陽子氏 |
| 【福岡県公衆衛生功労者知事表彰】       | 高杣 裕子氏  |          |        |
| 【母子保健推進会議 会長表彰（団体表彰）】  | 久留米地区   |          |        |

## 2026年度公益社団法人日本助産師会 第99回通常総会報告

村田修子

去る5月15日、東京一橋大学一橋講堂にて「第99回通常総会」が開催され、佐藤会長をはじめ三部会部会長、計4名で出席いたしました。2026年3月末の日本助産師会の会員数は10,751名(助産所部会837名・保健指導部会3,860名・勤務助産師部会6,042名・部会なし12名)で、代議員として135名が参加しました。

通常総会では、今年度の基本方針と重点目標6点が示され、5点の審議事項が賛成多数により承認されました。また、名誉会員6名の方々の表彰では、登壇された代表3名の80代とは思えない凛としたお姿と、「生涯助産師」として歩まれるお話に、とても大きなエールをいただきました。

今回の選挙は理事2名(うち外部理事1名)と監事の計3名が、賛成多数にて承認されました。

一方で昨年のコンプライアンス事案について委員会の最終報告が出されましたが、疑義が生じ、今回第三者委員会による調査報告がありました。今後、理事会が取り組むこととして、旅費規定の改定、役員と事務局との円滑なコミュニケーション、コンプライアンス研修の取り組みが示されました。

私自身、これまでどこか遠くに感じていた日本助産師会ですが、総会への出席を通じて、一人ひとりが組織を構成する大切な当事者であると改めて気づかされました。組織の変革を注視するだけでなく、私たち一人ひとりが緊密に連携・協力しつつ、それぞれの立場で今できる役割を全うしていくことの重要性を実感いたしました。

次回の総会は、記念すべき第100回通常総会となります。100周年の記念式典も予定されております。今日の助産師会を築きあげてくださった先人の皆さまに心から感謝し、受け継いだバトンを大切に次につなげていきたいと思っております。



## 2026年度 福岡県助産師会 総会特別講演 報告

広報委員長 筑豊地区理事(2025年度) 安河内 静子

今年度の特別講演は、～誰もが愛されこの世に生きてきた～と題し、久留米出身のシンガーソングライター野田かつひこさん(吉本興行所属)をお迎えしました。野田さんの奏でる歌は、子どもさんを亡くされた方からのご依頼の歌、震災で出会った方との触れ合いから生まれた歌など、それぞれに出会いとエピソードがありました。切なさ、優しさがにじみ出る歌詞は、スペイン産の心地よいギターの色、オペラ歌手を目指しておられたという歌声に乗って、助産師会館いっぱいひろがりました。笑いあり、涙ありの素敵な時間を参加者の皆様と過ごすことができました。



## 2026年度 研修会のお知らせ

### 教育委員長 加藤陽子

2026年度より教育委員長を務めさせていただきます加藤です。どうぞよろしくお願いいたします。今年度は、助産師としての知識・技術の向上を目的に、オンデマンド研修7回、対面研修1回の企画を予定しております。

今年度の研修では、産後ケアガイドライン、産前産後におけるメンタルヘルス、乳児フィジカルアセスメント・発達支援、母乳育児支援、虐待予防、周産期におけるメンタルヘルス支援など、周産期から子育て支援まで幅広いテーマを取り上げています。また、助産師として求められる支援や関わりについて、多職種の専門的な視点からも学べる内容となっております。

助産師を取り巻く環境や求められる役割が変化する中、皆さまの日々の実践に役立つ学びの機会となるよう企画しております。今年度もたくさんのご参加を心よりお待ちしております。

## 産後ケア事業

### 妊娠・出産包括支援委員会 委員長 村田 愛

この度、妊娠・出産包括支援委員会委員長を務めさせていただくことになりました。

これまで本会では、「県内いつでもどこでも助産師のケアが受けられる」ことを目指し、豊田前委員長はじめ諸先輩方のご尽力により、多くの自治体との事業委託契約を結んできました。産後ケアおよび助産師の活動に対する社会的な認知度や期待が高まり、受託者も増加している一方で、地域間におけるケア提供体制の格差や質の保証、複雑化・多様化する社会における母子のニーズへの対応、委託料の妥当性や手続きの煩雑さなど、取り組むべき課題も山積しております。さまざまな状況にある母子とその家族が、安心して質の高いケア、「切れ目のない支援」が受けられること、そのために支える側の助産師もまた安心して専門性を発揮しやりがいを得られるよう持続可能な体制づくりが必要です。今後は行政や自治体との連携・協議をさらに深めるとともに、DX化に向けたシステムの見直し、体制整備を進めていきたいと考えております。

皆様の多様なご意見、ご指導をいただきますとともに、ご理解ご協力を賜りますよう、何とぞよろしくお願い申し上げます。

## SOS・パパ電話相談事業

### SOS・パパ電話相談事業担当 新地裕子

福岡県と福岡県市町村振興協会による補助金事業としてスタートした妊娠・子育て・思春期の悩みに対応する「SOS 電話相談事業 (092-406-5118)」は、3 年目に入りました。相談員は、6 名体制で、毎年メンバーは、入れ替わり、課題に取り組みながらも、それぞれの役割を分担し活躍しております。新たに福岡県が立ち上げた、子育てパパの悩みの支援として、2025 年 10 月からは、「パパのための子育て相談ダイヤル (092-406-5118)」でも 2 名の男性心理士が活躍しています。

本所 SOS 電話相談事業は、他にも多くの電話相談がある中で、継続的に利用してくれている相談者を含め、新規の相談者の電話やメールに寄り添いながら対応しています。更に、パパ電話相談は、新たな取り組みであり、今後周知を進めていき、利用者増を期待しております。

また、求人募集は、概ね 11 月頃に助産師会理事会を通して会員の皆様に公表しております。ご関心のある方は、お問い合わせください。

これからも、電話相談事業の発展に向けて、皆さま方のご支援・ご鞭撻の程、宜しくお願い致します。

## フレコンセプションケアセンターへの相談内容：思春期男子

### 福岡県フレコンセプションケアセンターコーディネーター 高空裕子

今回は、センターへの相談の実態をお知らせしたいと思います。「プレコンセプションケア」とは、年齢や性別にかかわらず、からだところ、性の健康を考えるヘルスケアのことです。

妊活や不妊治療を考えている方、パートナーとの関係に悩む方などの相談もありますが、圧倒的に多いのは思春期男子からの相談です。特に「自分は包茎だと思う」などの「性器」に関する相談が多くなっています。包茎には 3 種類あり、ほとんどは「仮性包茎」なのですが、「真性包茎」「嵌頓包茎」もあります。「嵌頓包茎」になるとすぐに泌尿器科で処置を受けないと性器が壊死してしまうことになるので、注意が必要です。「仮性包茎」であれば、「むきむきストレッチ」を説明し、半年ほど試してまだ心配なら連絡するように促しています。このような具体的な対処を説明することで、ほとんどの相談者は安心します。相談員の態度として大事なものは、恥ずかしがらず、はっきりと話すことです。「嵌頓包茎」かもしれないという相談者には、直ちに受診を勧めますが、「親に言えない」などで躊躇することも多いです。そこで、オンライン診療で泌尿器科の医師につなぎ、ZOOM で問診等を行います。その中で、包茎やそのほかの性器の悩みもできますので、詳しく説明します。最後は「先生が優しくて安心できた」「相談してよかった」と満足 of 言葉を述べる方が多いです。泌尿器科の先生方はプレコンの活動にとっても協力的で、迅速に丁寧に対応していただき感謝しています。

相談員は、他にも「性欲」や「マスターベーションの方法」などの男性からの相談に冷静に対処しており、頼もしく感じています。このような事例にあたるたびに、低学年からの男性の性教育を充実させる必要を感じます。

## 福岡市マタニティスクール 報告

### マタニティスクール担当 塩山知世

新年度が始まりました。当マタニティスクールは毎回2~4倍の申し込みをいただくなど、高い倍率が続いています。  
アンケートでは妊婦さん・パートナーともに「沐浴指導・体験」への期待と満足度が高く、体験を通じて新しい命を身近に実感されている様子がうかがえます。また、この体験がパートナーの父親としての意識づけにも繋がっているようです。AI活用が普及する今だからこそ、肌で「感じる」ことの意義を改めて実感しています。  
一人でも多くの方が受講できるよう、助産師会が主催するスクールとしての本質を大切にしながら、工夫を重ねてまいります。また今年度は、増加する多胎妊娠に対応するため「多胎妊娠向けスクール」も新たに開催予定です。

## 2026年度 包括的性教育研修がスタートしました

### 包括的性教育委員会 委員長 道園亜希

福岡県助産師会包括的性教育研修は、今年で3年目を迎えました。今年度も、熱い思いを持った助産師が全国から参加しています。

第1回研修では、包括的性教育を実践する助産師として大切にしたい助産哲学や、性教育の歴史、社会・政治的背景について学びました。受講者からは、「助産師が性教育を行う意味を深く考えることができた」「歴史や政治的背景を知ることによって、現在の課題や助産師として果たすべき役割が見えてきた」「現場での実践を聞くことができ、大変参考になった」といった声が寄せられました。

また、「包括的性教育は点ではなく線でつながる学びであることを再確認した」「エビデンスを身につけ、学び続ける覚悟ができた」「同志と出会い、勇気とモチベーションをもらった」など、多くの参加者が学びの深さと仲間とのつながりを実感しています。

今年度は、研修だけでなく広報活動にも力を入れ、認定講師が地域で活躍できる機会をさらに広げていく予定です。包括的性教育を通して、誰もが安心してありのままの自分を大切に生きられる社会の実現を目指し、引き続き学びと実践を深めてまいります。



## プレコンセプションセンターでの母性看護学実習

### プレコン相談員/実習指導者 大庭瞳

昨年度、福岡看護大学3年生103名が福岡県プレコンセプションケアセンターで実習を行った。学生たちは当初、母性看護を妊娠・出産・産後の周産期支援と捉えていたが、実習を通して妊娠前からの健康づくりや相談支援の重要性について学ぶことができた。事前課題では、「プレコンセプションケアを暮らしの中に取り入れ、自分のからだがどう変化したかの考察」に取り組み、食事や睡眠、運動習慣を見直したことで、「集中力が高まった」「ストレスが軽減した」など、心身の変化を実感する学生が多く見られた。また、学生同士で経験を共有することで、互いに健康行動への意識を高める機会となった。一方で、プレコンセプションケアセンターのような相談機関の存在を初めて知った学生も多く、対象者への支援は病院内での看護実践だけでなく、行政や地域の相談支援体制、多職種との連携によって支えられていることを学んだ。国や県、市町村の取り組みや相談窓口について理解を深めるとともに、必要な支援につなぐ看護職の役割の重要性についても認識を深めていた。

今年度も、実習指導者として、学生が理解を深め、自身の健康行動や支援の在り方について主体的に考える機会になるよう、関わっていきたい。



## Yello Fes 報告

### 包括的性教育委員 安食明代

世代を超えて学ぶ“いのちのはじまり” \第2回フクオカ イエローフェスに出展しました／

2026年3月8日、ソラリアプラザで開催された第2回フクオカ イエローフェスに、当会は体験型ブースを出展しました。開始直後から子ども連れのご家族や若い世代が次々と足を止め、「何これ?」「やってみたい!」と、ブースは終始にぎわいに包まれました。胎児人形の前では、小さな女の子が「かわいい」と目を輝かせ、その姿を見守る周囲にも自然と笑顔が広がりました。また、若いカップルがからだの模型に興味を示し、男性のからだの仕組みや、射精の際に尿と精液が混ざらない理由について説明すると、「確かに!」「すごいですね」と驚きながら熱心に耳を傾ける姿が印象的でした。子どもから大人まで、世代を超えて“いのち”やからだの不思議に触れ、自然な話と学びが広がる一日となりました。体験を通して広がるいのちの学びを、これからも地域へ届けていきます。

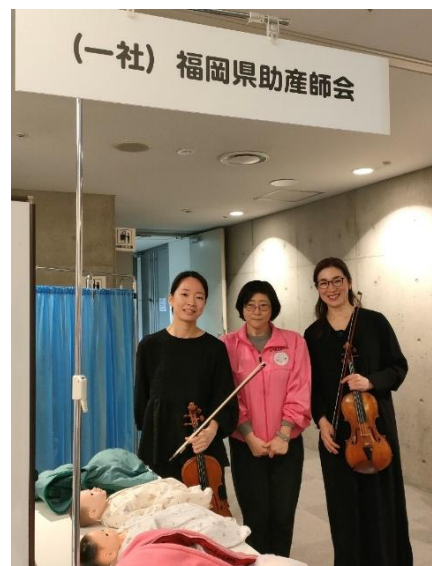


## 「九響マタニティコンサート」 ママとパパとベビーに贈る0歳からのオーケストラ

### フレコン相談員 大熊陽子

今年度も九響マタニティコンサートに福岡県助産師会が後援し、助産師コーナーと救護室担当として参加しました。この【ママとパパとベビーに贈る0歳からのオーケストラ】は今年で5回目を迎え、妊婦さんや小さなお子さんを育てるママとパパが「心もからだもリラックスできますように…」そんなねがいが込められています。開演前にロビーで楽団員が奏でる弦楽器の音色は、こどもたちの表情がいきいきと輝きだす魔法です。まるでお伽話を聞くように楽器に集い、じっと親子で聴き入る様子に私たち助産師も癒されています。

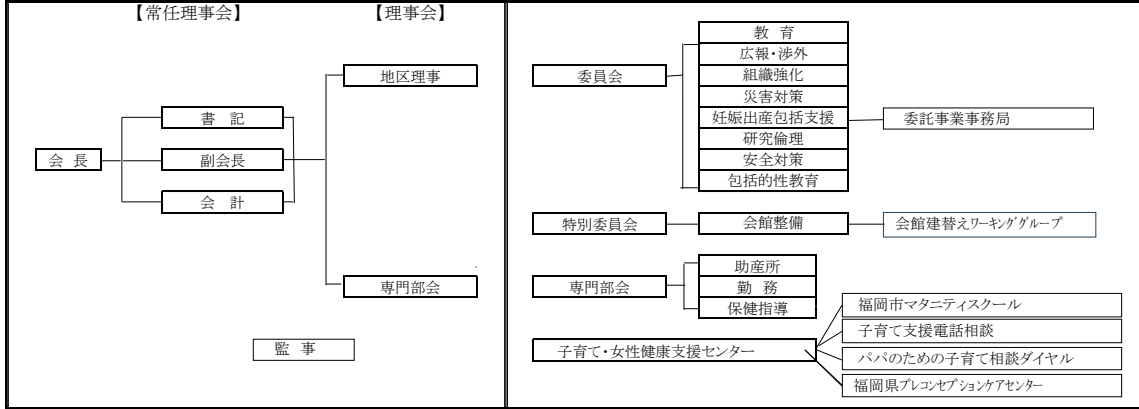
この九響マタニティコンサートへの後援活動は4年目を迎え、こども向けの性教育の絵本や紙芝居、新生児人形での抱っこ体験、パパ向けには妊婦体験といった内容で交流を続けています。グッズに触れながら、ママご自身の体調や子育てする中での相談をお受けしたり、パパとの協働を一緒に考えたり、きょうだい児との接し方や産後ケア事業のご提案を介して「すべての母子に助産師のケアを届けたい」と思います。何より親子がハグしあえることが一番のケアだと感じます。九響からはオーケストラの音色を、そして助産師からは子守歌にのせたケアを来年も届けます。



# 2026年度 福岡県助産師会 組織図

## 役員・委員会一覧

### 福岡県助産師会・組織図



### 2026(令和8)年度 役員・委員会

#### 1 常任理事・監事

役職	氏名	(地区)
会長	佐藤 香代	(福岡)
副会長	吉田 静	(北九州)
会計	山口 美津枝	(北九州)
書記	阿部 聖子	(宗像)
監事	野中 清子	(北九州)
	田中 啓子	(宗像)

#### 2 地区理事

地区	氏名	地区	氏名
北九州	山田 葉子	福岡	藤木 久美子
筑豊	石村 美由紀	久留米	石橋 美幸
宗像	石山 さゆり	筑後	加藤 陽子
福岡	松竹 麻沙美		瀬口 絵美

#### 3 専門三部会長理事

部会	氏名	(地区)
助産所部会	高橋 よし恵	(福岡)
保健指導部会	福田 睦美	(福岡)
勤務助産師部会	村田 修子	(北九州)

#### 4 常任委員会

\*は委員長 ○は理事

委員会	氏名	地区
教育委員会 (委員定数6)	加藤 陽子 ○*	久留米
	村田 修子 ○	北九州
	岡村 光子	久留米
	守 由起子	福岡
	明野 陽奈	筑紫
	松藤 美由紀	筑紫
広報・渉外 委員会 (委員定数5)	藤木 久美子 ○*	福岡
	石橋 美幸 ○	筑紫
	伊与田 あづさ	福岡
	山村 恭葉 HP担当	北九州
	阿部 聖子 HP担当	宗像
災害対策 委員会 (委員定数8)	山田 葉子 ○*	北九州
	松竹 麻沙美 ○	福岡
	神崎 秀子	北九州
	梶嶋 陽子	筑豊
	吉村 裕美	筑豊
	藤津 香織	筑紫
	藤師 妙子	久留米
組織強化 委員会 (委員定数5)	瀬口 絵美 ○*	筑後
	石村 美由紀 ○	福岡
	早井 久美子	北九州
	浦部 きくえ	筑豊
	國武 麻利紗	筑豊
安全対策委員会 医療事故調査 委員会 (委員定数5)	高橋 よし恵 ○*	福岡
	福田 睦美 ○	福岡
	村田 修子 ○	北九州
	田嶋 昌枝	北九州
	松浦 榮梨子	宗像

委員会	氏名	地区
妊娠・出産包括支援委 員会 (委員定数6)	村田 愛 *	福岡
	高崎 望	筑豊
	末吉 友恵	北九州
	黒木 友子	北九州
	松元 久美子	筑紫
	吉田 静 ○	北九州
研究倫理 委員会 (委員定数5)	吉田 静 ○*	北九州
	石山 さゆり ○	宗像
	石田 麗子	北九州
	福田 千鶴	筑外
	両角 駿	筑紫
包括的性教育 委員会 (委員定数12)	佐藤 香代 ○*	福岡
	道園 亜希 ○*	筑豊
	光橋 幸恵	北九州
	大庭 瞳	福岡
	嶋田 嗣子	福岡
	阿部 聖子 ○	筑紫
	河村 奈央子	久留米
	松藤 美由紀	筑紫
	守 由起子	福岡
	今林 純子	福岡
	安食 明代	福岡
	村田 愛	福岡

#### 6 子育て・女性健康支援センター

職務	氏名	地区
統括責任者	佐藤 香代 ○	会長
実務責任者	吉田 静 ○	副会長
実務責任者補佐	末吉 友恵	北九州
構成員	木村 亜矢	宗像
	関 由佳里	久留米
	伊藤 陽子	福岡
	前田 智奈	北九州

#### 5 特別委員会

委員会	氏名	地区
会館整備	佐藤 香代 *	福岡
	山口美津枝	北九州
会館建替 ワーキング グループ	常任理事	
	緒方 理佐 *	北九州
	田嶋 昌枝	北九州
	高井 佳世子	福岡
	梶原 世津	福岡
	長谷川 まどか ○	福岡

#### 7 ワーキンググループ

ワーキンググループ	氏名	地区
福岡市 マタニティスクール	塩山 知世 *	福岡
	西岡 あゆみ	福岡
	小田 美幸 ○	福岡
子育て支援電話相談	阿部 聖子 *	福岡
	新地 裕子 *	福岡
パパのための 子育て相談ダイヤル	新地 裕子 *	福岡
	高空 裕子 *	福岡
福岡県 プレコンセプションセンター	高空 裕子 *	福岡

#### 8 公益社団法人 日本助産師会 役員

- 九州沖縄地区 理事 坂梨 京子 (熊本県)
- 九州沖縄地区 勤務助産師部会長 村田 修子
- 福岡県 代議員 佐藤 香代、田嶋 昌枝、松浦 榮梨子、村田 修子

私たちは、働く皆様を「快適な眠り」で支えます。

東洋羽毛について詳しくはこちらをご覧ください



**東洋羽毛 睡眠セミナー無料サービスのご案内**

よく眠った人には、かなわない。

**睡眠セミナー講師を無料で派遣いたします**

東洋羽毛では、「睡眠健康指士」の資格を有した社員が講師を務める充実したセミナーをご用意しています。正しい情報を得て睡眠習慣を見直し、イキイキと健康的な毎日を歩むお手伝いをさせていただきます。

\*オンラインセミナーの開催も承ります。

《お役に立てる主な研修》

- 医療安全対策研修 睡眠不足とヒューマンエラーの関係や、交代制勤務における睡眠のコツなど
- 学校保健委員会 「学力」や「部活動」、「スマホ・ゲーム」と睡眠の関係
- 高齢者の睡眠ケア 高齢者の睡眠マネジメントやこれだけは知ってほしい生活習慣

\*他、施設内研修などご相談承ります（事前にお打ち合わせにお伺いする事も可能です）

睡眠セミナー講師は状況に応じて都合次第で変更いたします。

●セミナーに関するお問い合わせは、下記フォームからお願いいたします。お申し込みの受付は、営業時間内となります。

https://www.toyonaka.co.jp/seminar



東洋羽毛九州販売株式会社 福岡営業所  
〒812-0062 福岡県福岡市東区松島1-15-28 ☎0120-104-557

陣痛緩和ツール **OSITE** オシテ **NEW**

テニスボールより  
力をいれやすい  
持ちやすい



ガンバって

hasejun

長谷川潤一先生監修の下に生まれた妊婦向けツールのブランドです。使いやすさ・コミュニケーション・環境にこだわりながら、今までにない新しいプロダクトを提案していきます。

**長谷川 潤一 先生 監修**

聖マリアンナ医科大学 大塚大塚 産科  
高松聖マリアンナ医科大学 産科 教授

総販売元 / お問い合わせ先  
**株式会社 未来** 03-5148-1007 m-mirai.co.jp/  
東京都中央区築地 2-14-6 CAMEL 築地 1-1103

**ママと赤ちゃんのコンビニエンス**

●● 産科用品の自動販売機 ●●

院内サービスショップとして  
24時間いつでも利用していただけます。

**GLORY**  
汎用投筒機 AE-20V

- 1台で90品目販売、豊富な品揃えができます。
- 販売価格は5,000円まで。もちろん、千円紙幣も使えます。
- 売上集計もワンタッチで。ジャーナル印字も行えます。

陳列コラムを回転させながら商品が選べます

↓

投入金額以内の陳列コラムの扉を1つだけ開けて商品を取り出せます



外形寸法: (W×D×H)  
800×685×1830mm・重量150kg

企画・発売元  
**SEBE** セベ産科用品株式会社  
〒812-0016 福岡市博多区博多駅前4丁目11-11 TEL (092) 472-4316

**産褥社 (胎盤処理)**

〒811-1313  
福岡県福岡市南区日佐3丁目  
34-16

TEL : 092-581-6588

代表 : 村上 士郎



## ホームページ会員登録のお願い

**会員登録がお済みでない会員におかれましては、登録をお願いいたします！**

手順は、【福岡県助産師会 HP】⇒【助産師の方へ】⇒【会員登録について】⇒【会員登録フォーム】に必須事項の入力となります。

これまで日本助産師会事務局から福岡県助産師会会員の皆様への情報提供手段として、地区理事や各部会長を通して伝達していましたが、2022年9月より福岡県助産師会ホームページ内【会員ページ】に掲載することになりました。会員ページにログインされますと、観覧制限しているページを見ることができます。

## 会員募集

**一般社団法人 福岡県助産師会では、会員を募集しております！！**

ご友人や職場の方をお誘いし、一緒に活動してみませんか？  
入会をご希望される方は、下記 QR コードより福岡県助産師会ホームページにアクセスし、【助産師の方へ】⇒【入会案内のページ】にお入りください。  
または、下記担当者への連絡をお願いいたします。



【福岡県助産師会 会計 山口美津枝】  
住所：〒807-1134  
北九州市八幡西区茶屋の原 4 丁目 1-12  
電話：090-9607-3331  
メールアドレス：[3enyanko@gmail.com](mailto:3enyanko@gmail.com)

**おひとりでも多くの皆様の入会を心よりお待ちしております。**

### 【編集後記】

例年になく、涼しい梅雨の季節になりました。今年の夏はどれほど暑くなるのでしょうか。産院、行政、地域、教育現場と、それぞれの場所で助産師として活躍される皆さまが、毎日を元気に過ごせますことを願っております。

広報・渉外委員 藤木・石橋・山村・阿部・伊与田

一般社団法人 福岡県助産師会 ニュースレター 第 91 号 2026 年 7 月  
発行人 一般社団法人 福岡県助産師会 会長 佐藤 香代

〒810-0014 福岡県福岡市中央区平尾 1-3-41  
電話・FAX 092-521-2025 <https://jyosanshi.net>